

大阪大学図書館報

Vol. 8, No. 4/5 November 1974.

目 次

- | | |
|------------------|---------------------|
| ○米国の大学図書館を見て思うこと | ○第2回理工学系図書館研究集会について |
| ○図書館委員会名簿 | ○会 議 |
| ○学生希望図書（受入済） | ○分館日より |
| ○教官著作寄贈図書 | ○日 程 |
| ○本館受入参考図書 | ○人 事 |

米国の大学図書館を見て思うこと

田 中 久 文

米国の大学図書館の内側に入って見て驚くことの一つは、多くの学生たちが働いていることだ。カリフォルニア大学バークレイ校中央図書館で貸出課長から、このカウンター業務だけで約100人の学生が交代でパートタイムのアルバイトをしていると聞いて、さらに驚いた。この図書館全体で約200人の学生が働いているという。もちろん彼等は自分の受ける講義に影響がないように、働く時間割も決めている。学費が高く、あまり親がかりの少ない米国では学生たちの3分の2は何らかの形でアルバイトをしているといわれる。日本のように家庭教師というような便利な稼ぎ口のない彼等には大学内で働けるのは好運のようで、人事課長の話によると申込者は多いが、大学当局もアルバイトのできる仕事は可能な限り学生たちを雇用する方策をとっているという。

こんな具合だから勉強に必要な図書もあまり買う余裕のない学生たちはできるだけ図書館の図書を利用することになって、学内のいずれの図書館も混むことが多い。

図書館がよく使われるというのは、学生たちの懐工合だけがその理由であるはずはない。図書館がそれだけ立派だというのは、そこから受けるサービス（運営技術）の良さとともに

やはり蔵書が質量ともにすぐれていることが基本である。日本の大学でも近年ようやく学生用図書の整備が認識され、阪大でも一昔前に比べれば随分と良くなったものだと思うが、まだまだ十分というには程遠い。とくに研究用図書については、わずかな例外を除いて図書館という共通利用の場において收藏されることが少ない。

大学が使う図書費を日米比較すると、意外なことだが一般に考えられている程、米国の大学は豊かではない。前述のパークレイの図書館群は全米でも屈指のものだが、その年間全図書費（約140万ドル）は阪大のそれよりわずかに多い。しかし学生数は2倍、教員研究者は20%ほど多いことを考えると、実質的には少ないと考えられる。これらの予算の使われかたは日本とは大いに違い、購入された図書はすべていずれかの図書館に收藏される。

こうした図書の集中はその背景にいろいろな原因があろうが、伝統的な予算の配分システムなどが基本的に違うところにも基因すると思われるが、結果的には図書館の蔵書の充実、またその運営技術の発展を促がすことになっている。日本の研究者が米国の大学を訪ねて、ほとんど様々その図書館の良さを強調されるが、その裏にあるシステムの違いに言及する人は少ない。

日本の研究者で図書費が十分だと思っている人は恐らくは居ないだろうが、欧米の図書館からはまだ余裕があるように見える。たとえば、Chemical Abstracts（化学の文献調査の上で不可欠なものであるが同時に高価なことでも知られる）はあの広大なパークレイのキャンパスの中で、現在はただ1セット購入されている。（化学分館に所蔵されている。）また、西ドイツで聞いた話によると、フライブルク大学では3セットを1セットに削減して一般の学術雑誌を300種購入できたという。

しかし、今後は世界的インフレ進行、あるいは外貨事情の変化によって外国図書の値上がりは大学予算の伸びをはるかに超えたものとなろう。こういう事情に対処するには、広い立場での調整と共通利用への積極的な踏みきり以外に具体的な妙案は見あたらないと思われる。阪大でもすでにその動きの芽がないわけではない。同じ化学の分野だが、有機化学の重要文献の一つであるBeilsteins Handbuchが2年前から工・薬・蛋研の3部局で共同購入とし吹田分館に置くことになった。その結果年間150万円を節約できる。この協定ができるまでの関係者の努力を見ていると、日本の大学でこの種の協同活動のいかに難しいかを実感する。だが近くは豊中地区でも同様な動きが見られるようになった。こうした場合に際して図書館は積極的に場を提供し、利用に便利なように最大限の努力をしたいものである。そのために図書館があるのだから。

それにつけても欧米の住居を見ていると、家と家の間に塀がある所は少ないが必ず芝生を植えている。日本では地所が狭いのにできるだけ高い塀を作る。窮屈な土地なら垣根を作らない方が広く見えるし必要なとき譲り合えば広く使うこともできよう。さらには互いの用心にも便利だと思う。庭に植えた芝生は塀を高くした小さい土地では育たない。図書館をもっと生かして使うことを皆で考えてはどうだろう。

（附属図書館整理課課長補佐）

附属図書館運営委員会委員名簿

図書館長	高田教授(経)	工学部	◎三川教授	大路教授
文学部	山田教授 三輪教授	基礎工学部	今市教授	鈴木教授
人間科学部	甲田教授 茅野教授	教養部	高瀬教授	井上教授
法学部	覚道教授 矢崎教授	微生物病研究所	岡田教授	豊島教授
経済学部	小泉教授 大野教授	産業科学研究所	原田教授	森本教授
理学部	芝教授 金森教授	社会経済研究所	新開教授	畠中教授
医学部	◎山野教授 吉田教授	蛋白質研究所	佐藤教授	倉橋教授
医学部附属病院	金子教授 内藤教授	溶接工学研究所	圓城教授	岩本教授
歯学部	山本教授 下総教授	事務局	床井局長	
薬学部	◎池原教授 鎌田教授	医療技術短大	曾我部教授	加納教授

(49. 11. 1 現在)

(註) ◎：分館長

附属図書館 豊中地区運営委員会委員名簿

運営委員長	覚道教授(法)	薬学部	鎌田教授	上原教授
文学部	山田教授 三輪教授	基礎工学部	今市教授	鈴木教授
人間科学部	甲田教授	教養部	高瀬教授	井上教授
法学部	覚道教授 矢崎教授	社会経済研究所	新開教授	久我教授
経済学部	小泉教授 大野教授	医療技術短大	曾我部教授	加納教授
理学部	芝教授 金森教授			

(49. 11. 1 現在)

附属図書館 中之島分館運営委員会委員名簿

分館長	山野教授(医)	歯学部	下総教授	猪木教授
医学部	後藤教授 吉田教授	微生物病研究所	岡田教授	豊島教授
医学部附属病院	金子教授 内藤教授	蛋白質研究所	佐藤教授	倉橋教授

(49. 11. 1 現在)

附属図書館 吹田地区運営委員会委員名簿

分館長	三川教授(工)	産業科学研究所	原田教授	森本教授
工学部	大路教授 池田教授	溶接工学研究所	圓城教授	岩本教授

(49. 11. 1 現在)

学生希望図書 (受入済)

- | | |
|-------------------------------------|---|
| 戦後日本の経営理念史
中瀬 寿一 (法律文化社) | 往復書簡 1～4
ジイド・マルタン・デュ・ガール
(みすず書房) |
| 朝鮮の歴史
朝鮮史研究会 編 (三省堂) | 月 山
森 敦 (河出書房新社) |
| 連続群論 上
ポントリャーギン (岩波書店) | 夜と霧(フランク著書集Ⅰ)
フランク (みすず書房) |
| ラインの河辺
犬養道子 (中央公論社) | 組合せ数学入門 I, II
C・L・リウ (共立出版社) |
| 経営学総論(現代経営学双書)
野口 祐 (世界書院) | 英語語法大事典
石橋幸太郎 (大修館) |
| 経営分析論(現代経営学双書)
経営分析論研究会 編 (世界書院) | パリだより
森 有正 (筑摩書房) |
| 解析概論
高木 貞治 (岩波書店) | 講座・現代経営経済学 1, 3, 4, 5
柴田 勝次 (中央経済社) |
| 志賀直哉全集 第9, 13巻
(岩波書店) | 教本講義の対照による現代微積分学
山本圭次郎 (現代数学社) |
| ヘーゲルの修業遍歴時代
速水 敬二 (筑摩書房) | 現代経済学
J・M・ヘンダーソン (創文社) |
| ヴァリア・ポエティカ
松浪信三郎 (河出書房新社) | 魔女と魔女裁判
クルト・バッシュピッツ
(法政大学出版局) |
| 英語慣用法辞典
大塚 高信 他 (三省堂) | 経営学総論
醍醐 作三 編 (中央経済社) |
| 神 曲 地獄編
ダンテ (集英社) | カラー文楽の魅力
吉永 孝雄 (淡交社) |
| ジョルジュ・バタイユ著作集 1～12
(二見書房) | 歴代天皇の御歌
小田森寅二郎 編 (日本教文社) |
| ピタゴラス豆畑に死す
小峰 元 (講談社) | 労働と管理の経済理論
角谷登志雄 (青木書店) |
| ブリューゲル全版画
ベルギー国立博物館 編 (岩波書店) | 日本思想の源流
小田森寅二郎 (日本教文社) |
| 世界の四次元現象 1～3
高梨 純一 (大陸書房) | Short Course in Biochemistry
Lehninger, A. L.
(Worth pub, Inc.) |
| 西洋演劇史
菅原 太郎 (演劇出版社) | |
| 経営経済学総論
上林貞治郎 (ミネルヴァ書房) | |

教官著作寄贈図書

—本館—

- 川俣順一（微研・教授）
英和・和英 微生物学用語集
（菜根出版 昭49）
- 羽田 洋（教・教授）
藤平浩之（言・助教授）
赤井慈爾（言・助教授）
中村元保（言・助教授）
第三帝国の言語
—ある言語学者のノート—
叢書ユニベルシタス
（法政大学出版局 昭49）
- 布目潮風（文・教授）
中国の歴史 第4巻：隋唐帝国
（講談社 昭49）
世界の歴史 第4巻：六朝と隋唐帝国
（社会思想社 昭49）

—吹田分館—

- 竹本喜一（工・教授）
機能性高分子 （朝倉 昭49）

—理学部図書室—

- 新村陽一（理・教授）
無機化学概論（朝倉化学講座14）
（朝倉 昭49）
- 関 集三（理・教授）
一般化学（下）第3版、ポーリング著
関 集三、千原秀昭、桐山良一 共訳
（岩波書店 昭49）
- 芝 哲夫
立体化学（化学モノグラフ21）
（化学同人 昭48）

—基礎工学部図書室—

- 弁田公三（基・助教授）
Energy and Charge Transfer in
Organic Semiconductors, Ed. by
K. Masuda, M. Silver. (Plenum '74)

本館受入参考図書

- 9月～10月に受入済みのもの
- 明治前期書目集成 第1～7 9～13分冊
（明治文献資料刊行会）
- 文献探学入門 （思想の科学社）
- Ulrich's International Periodicals
Directory 15th, ed. 1973-1974
Index Translationum. Vol. 23
奎章閣図書中国本総目録
（ソウル大学校附属図書館）
- 佐野文庫敬徳書院蔵書目録
（新潟大学附属図書館）
- 反町弘文荘蒐集西欧名家文豪自筆書簡原稿
目録 （弘文荘）
- 本邦残存典籍による輯佚資料集成 正・続
（京都大学人文科学研究所）
- 著作権台帳 第15版（日本著作権協議会）
- 熊本藩年表稿 （細川藩政史研究会）
- 名乗辞典 （東京堂出版）
- 実践教育機器用語辞典 （第一法規出版）
- 資料消費者行政 2 （大蔵省印刷局）
- 福利厚生施設と労働費用の実態
（労働法令協会）
- 昭和49年度の税制改正に関する答申
（税制調査会）
- 日本人口の動向 （人口問題審議会）
- 特殊法人総覧 S 48年版（大蔵省印刷局）
- 賃金決定のための物価と生計費資料
S 49年版 （労務行政研究所）
- 世界の企業の経営分析 S 47年版
（大蔵省印刷局）
- 日本外交史 別巻4 地図
（鹿島研究所出版会）
- 大阪府勢要覧 '73（大阪府企画部統計課）
- 児童学事典 （光生館）

青少年問題に関する文献抄録集 2 (総理府青少年対策本部)	原子力ポケットブック S 49年版 (日本原子力産業会議)
青少年問題に関する文献目録 2 (総理府青少年対策本部)	時計史年表 (河合企画室)
近畿圏住民の「住みよさ」意識世論調査結果 報告書 S 49 (国民住宅建設協会)	航空用語 (帝国飛行協会)
わが国海外投資の現況と展開方向 (日本輸出入銀行調査部)	国際電気通信業務便覧 '73 (国際電信電話K.K.)
国際経済条約集 (ダイヤモンド社)	世界の船 '74年版 (朝日新聞社)
日本社会主義文献解説 (大月書店)	デザイン小辞典 (ダヴィッド社)
総合食品事典 (同文書院)	版画事典 ()
グラバー図譜 第2巻 (長崎大学水産部)	イラスト事典 ()
服飾辞典 (ダヴィッド社)	海 録 (図書刊行会)
エレクトロニクス用語図解事典 (オーム社)	字鏡抄 第1-7巻 (古辞書叢刊行会)
石油業界の推移 S 47 (石油連盟)	和蘭字彙 第1分冊 (早稲田大学出版部)
世界石油産業の現状とOPECの石油政策 (世界の動き社)	英語慣用法辞典 (三省堂)
	英語語法大事典 (大修館書店)
	万葉集総索引 単語篇 (平凡社)
	国文学研究文献目録 S 46 (国文学研究資料館)

第2回 理工学系図書館研究集会について

第2回研究集会が10月18日京都工芸繊維大学を会場に開催された。今回は「理工学系図書館における図書館資料の収集と保存について」というテーマが採択され、京都大学他8校から33名の参加者で、3校からの報告と全体討議が行われた。

この種の研究集会の期待される場所は、極く身近かな問題を実務中心に討議できることで、それだけに参加者の多くから意見が述べられることである。それによって同じような図書館の実情をくわしく知ることができることであろう。今回の研究集会において特に感じたことは、参加者の殆んどが、このテーマの持つ問題に大なり小なり関心を持っていることである。しかしながら具体的な対策を持ってこの問題に当たっている所も殆んど見当らず、暗中摸索といった状態である。資料の収集、保存といづれをとっていても最も今日的な課題であり、近い将来どうしても解決しなければならない問題である点では一様に同意見であるが、保存については、相当以前から機会あるごとに云われていることであるが、一向に進展している様子が殆んど見られない。それには種々様々な理由があると思われるが、何よりも、学内的にも、まして学外間においても、組織的な活動の欠如がその発展の障害になっているように思える。最近の物価高騰による財政処置のしわよせが図書費に影響を及ぼしているようであるが、そのために研究活動に支障を来さないためにも学内外ともに相互協力体制の確固たる基盤を確立しなければならない。文献複写のスピードアップ、学外利用者に対するサービス等改善しなければならないことが山積しているはずである。もちろんそのためには組織的な立場において十分協議されなければならないが、同時に個々の図書館、室の整備も強く要求されてしかるべきである。ともすれば相互協力といえ、機関と機関に話が持ってい

かれるが、組織的な活動のネックになっているのは組織の末端の整備の不十分さにも大きな要因があるように思える。そのような状態の中でいくら相互協力の必要を説いても、大きな期待は望めないように思える。

保存についても全く同じで、集めたからには当然保存ということを考えなければならないのであって、分担収集だの、分担保存だの云われるが、その根底になるものは、学内外を問わず相互協力の整備である。今回の研究集会においても書庫のスペースの問題が論じられたが、満足にスペースの確保されている館、室は殆んどなく、それどころか、すでに飽和状態の所が数多く見受けられた。それでいて具体的な対策をもってその解決にあたっている所も殆んどない状態である。すなわち、個々の館、室だけでは解決できない大きなテーマなのである。今回の研究集会はこれらの再確認の程度に終わったが、図書館員の一人一人が、今後問題解決の提起をどこへもって行くべきか、どのような施策が考えられるのかを探求し、その実現に努力すべきことを痛感する。

松浦 正 (吹田分館運用掛長)

■■■■■■■■■■ 会 議 ■■■■■■■■■■

——国立七大学附属図書館協議会 第48次——

49. 9. 19(木)~20(金) 於 東北大学附属図書館
本学出席者 図書館長、事務部長、整理課長

第48次(昭和49年度)国立七大学附属図書館協議会は、東北大学を会場館として9月20日に開催された。協議会に先だって前日の19日に第7回部課長会議が開かれ、①週休二日制に伴う図書館の対応について ②課長補佐定数の増加について ③外国雑誌の未着について ④指定図書制度の運用について の討議が行なわれた。

協議会は、当番館の東北大吉田館長が議長となり、次の協議題について終始熱心に協議が行なわれた。

〔協議題〕 1. 第3次定員削減について 2. 地区別に文献複写センターを設置することについて 3. 図書館業務における時間外開館の位置づけについて 4. 中央館予算の学内措置について 5. 中央館の研究図書館としてのあり方について 6. 大学図書館近代化の一環としての学術研究資料館構想について 8. 図書館幹部職員の登用人事について

——基礎工学部図書委員会——

49. 9. 25(水) 13:00~17:45 於 中会議室

①昭和50年度購入雑誌について:(イ)利用度の低い雑誌や商業的雑誌の中で、どの学科からも必要性がないと認められたものは中止する。新規購入は7点。(ロ)航空便購入をしている雑誌は普通便にする。ただし学科から希望があれば航空料金のみ学科(研究室)負担で航空便購入をする。(ハ)Chemical Abstractsの復活購入について:予算面の制約等もあり、現下の状況では共通経費での購入は無理である。

■■■■■■■■■■ 分館だより ■■■■■■■■■■

——基礎工学部図書室——

10月1日(火)より図書の整理業務は理学部分室から分離し、基礎工学部分室独自で実施することになった。

目 程

- 9月3日 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する委員会
(第8回 和歌山大学附属図書館)
- 9月6日 近畿地区国公立大学図書館協議会 企画委員会 (京都大学楽友会館)
- 9月19日・20日 第48次国立七大学附属図書館協議会および部課長会議
(東北大学附属図書館)
- 9月25日 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する委員会
(大阪外国語大学)
- 10月7日 近畿地区国公立大学図書館協議会 図書館統計に関する委員会
(第9回 奈良県立医科大学附属図書館)
- 10月9日 大学図書館国際連絡委員会 第6回企画委員会 (京都大学附属図書館)
- 10月14日 昭和49年度第1回図書館業務の機械化に関する委員会
(大阪大学附属図書館)
- 10月16日 国立大学図書館協議会 昭和50年度岸本奨励賞受賞者選考委員会
(名古屋大学事務局)
- 10月16日 国立大学図書館協議会 昭和49年度第2回常務理事会 (〃)
- 10月17日 国立大学図書館協議会 理事会 (〃)
- 10月17日 国立大学図書館協議会 大学図書館改善調査研究班 第5回会議
(名古屋大学附属図書館)
- 10月18日 近畿地区国公立大学図書館協議会 近畿地区理工系図書館職員研究集会
(京都工芸繊維大学事務局)

人 事

職員の異動

採用	事務補佐員	白川 明美	49. 9. 1	中之島分館	
	〃	佐々木きく子	49. 9. 1	〃	
	〃	石井美枝子	49. 9. 2	本館閲覧課	閲覧第1掛
	〃	巻田 紀子	49. 9. 25	〃 整理課	目録掛
配置換	文部事務官	深川 圭子	49. 10. 1	〃 閲覧課	閲覧第1掛(工学部から)
辞職	事務補佐員	山本志津子	49. 10. 1	〃 〃	〃
配置換	事務補佐員	平松 容子	49. 10. 16	核物理センターへ	(本館整理課庶務掛)
採用	〃	沢田 和子	49. 10. 19	本館整理課	庶務掛
	〃	於勢 文子	49. 10. 19	〃 閲覧課	閲覧第1掛